

鳥取県商工会連合会 **Shokokai**

商工会だより

3

2025 March

CONTENTS

第25回 経営支援発表大会 (P2) / おもてなしスキルアップセミナー・県内バイヤーとの商談会 (P3)

持続的な質上げ・生産性向上支援補助金 (P4) / 情報発信事業・地域のチカラ:クマダ石油 (P5)

大山時間事業報告会・令和6年度事業承継支援推進会議・叙勲受賞記念祝賀会 (P6)

地域の
チカラ

鳥取県商工会連合会は情報発信事業「地域のチカラ～伴走支援の現場～」として、会員事業者の特色ある取り組みを商工会が伴走支援し需要開拓につながった事例をシリーズで取材し、商工会だよりやホームページで紹介します。



地域の
チカラ
伴走支援の現場
vol.23

地域密着の姿勢を変えず
人とのつながりをこれからも大切に

クマダ石油
代表 熊田 美秋さん
(鳥取市南商工会)

環境変化に対応した伴走支援

鳥取県商工会連合会と県内3商工会産業支援センター、18商工会は1月30日、倉吉未来中心で「第25回経営支援発表大会」を開催しました。会員事業者、行政、金融機関などの各関係機関を含む、約140名が見守る中、3人の経営支援専門員が登壇し、「環境変化に対応した伴走支援」をテーマに、事業者へ行った支援を発表しました。

本大会は、伴走型支援の成果を「見える化」することで、商工会の活動を周知するとともに、経営支援の質向上や関係機関との連携強化を図り、事業者の持続的発展につなげることを目的に開催しています。



最優秀賞を受賞した中部センターと関係者

的に開催しています。

発表者は持ち時間15分で取り組んだ支援の内容や成果、今後の展望などを説明。事例の対象となった事業者も登壇し、「商工会への相談をきっかけに、経営人生が大きく変わった」、「多くの人に商工会をフル活用してほしい」と感想を述べました。

5人の審査員が支援内容の妥当性やプレゼンテーションなどを基準に審査。傾聴と対話による伴走支援について発表した、中部商工会産業支援センターの木下課長補佐が最優秀賞に輝き、本会の馬野会長から賞状を受け取りました。

また、同大会では鳥取県観光戦略課サイクルツーリズム振興室による、「鳥取県のサイクルツーリズムについて」ビジネスチャンスを掴もうと「〜」をテーマとした講演が行われました。県では、鳥取うみなみロードのナショナルサイクルルート(NCR)指定を目指して様々な取組を行っており、地域経済活性化の起爆剤とするべく、行政・商工団体・民間事業者のそれぞれの立場からの協力の必要性を呼びかけられました。

今後鳥取県商工会では、地域および事業者を取り巻く現状を踏まえて、事業者に寄り添った支援ができるよう努めていきます。



鳥取県サイクルツーリズム振興室による講演

経営支援事例発表(要旨を抜粋)

体質強化にむけた伴走支援 ~社長と従業員が一丸となった現場より~

支援先 日南トマト加工株式会社(日南町) 農業・加工品製造販売業

支援の内容

支援開始当初は、物産展出店支援から始まり、設備導入、補助金活用、販路拡大、事務部門の効率化の提案や、社員の多能工化に向けたマニュアル作成など、多岐に渡る支援を実施し、その都度問題解決には対応していました。しかし、根本的な課題解決には至らず、経営は悪化していました。そこで、改めて経営改善計画を立案し、そのアクションプラン実行に重点を置き支援を再開しました。改善の方針は「粗利率の改善」「固定費の削減」「売上を伸ばす」の3つ。会社全体の経費の検証や不採算商品の特定による問題点の見え方や、利益率を意識した販売戦略により、経営改善が進みました。また、コミュニケーション不足だった社長と従業員の間に入り、月次社内会議の再開を提案したことで情報共有と意見交換を促進し、改善計画を従業員も一丸となり実行する体制を整えました。

支援の成果

定量面では、令和4年対比で、売上高は+11%。粗利率の高いOEMが1.7倍拡大、粗利率の低い卸売が縮小したことで、粗利率は+10%、営業利益率は+16.5%と大幅な改善となり、最終的に7.7%の黒字化を達成しました。定性面では、従業員のモチベーション向上や部門を超えた多能工化が実現したことにより、商品開発や自社ブランディングなど、従業員主導でアクションプランが進められました。社長のトップダウンだけでなく、従業員を巻き込んで自発的に課題解決できるようになったことは、まさに「自走化」で、その結果が「体質強化」に繋がりました。



日南トマト加工(株) 内田章久氏



西部センター 田仲主任

今後の展開 今後は、社内体制の強化と維持を図り、自社ブランディングの磨き上げ、SNSの発信強化、事務管理業務の自動化を進めていきます。また、内田社長から次世代へのバトンをスムーズに渡せるよう事業承継支援も行います。これから先も、新たな課題に対して「傾聴と対話」を繰り返し、事業者との「共感」「気づき」から「一緒に考え」、決して「急がず・あきらめず」商工会は事業者の10年後の夢にむかったチームで伴走していきます。

塗って塗って塗りまくる 塗装専門業者の挑戦と成長

支援先 株式会社八頭塗装(八頭町) 建設業

支援の内容

設備投資の相談をきっかけに、経営分析を行ったところ、優先して対策すべき問題点として営業利益率の低さと法人としての土台が出来ていないことが判明。分析結果をもとに計画を策定し、設備投資の前に経営を改善することとしました。取組内容としては3点で、「広告宣伝の費用対効果の向上」に向けたホームページの改修、グーグルビジネスプロフィールの登録、公式LINEの開設支援。「法人としての土台作り」のための就業規則および法定三帳簿の整備。「現場の生産性向上」に向けた機材のコードレス化です。これらの取組で売上向上などの成果が順調に現れる一方、決算書で経費を確認すると、一括見積サイトの手数料により広告宣伝費が大きく増加していることが判明。競合の台頭による売上への不安が残る中「お客様へよりよい提案をしたい」という社長の想いを後押しするため、フォローアップ支援に着手しました。その支援では競合分析から「広告の差別化」や「ご近所割」などの新サービスを提案し、一括見積サイトに頼らない塗装専門業者を目指した取組を実施しました。これらの多岐にわたる支援は、記帳担当職員との連携や、専門家派遣、働き方改革サポートオフィス、よろず支援拠点の活用など多くの協力を得て進めました。また、同業他社の取組など情報収集を行い、良いものは積極的に取り入れ、支援の効果を最大化することができました。

支援の成果

直近決算では売上が5000万円を超え、支援開始時に赤字であった営業利益は300万円を突破。今期は、わずか6ヶ月で借前営業利益900万円を達成しました。今回の取組による認知度向上と会社の信頼性の向上により、BtoBの塗装依頼が入るようになり、顧客層も広がりました。また、社長は原価と利益を意識し、目先の売上ではなくさらにその先にどのような取組をしていくべきかという長期的な視点を持つようになり、経営者としての成長も感じられました。



(株)八頭塗装 中村慎太郎氏



東部センター 河本主任

今後の展開 目標は売上1億円です。BtoBの受注増加を目指し、工場・アパート向けチラシと動画制作を進めています。また、今後の成長には人材が不可欠であるため、従業員の確保と育成が課題になってくると感じています。絶賛従業員募集中です。

ビジネスホテルの体質強化 ~「傾聴と対話」による自走支援~

支援先 有限会社サンシャインとうはく(琴浦町) 宿泊業

支援の内容

新型コロナウイルスの影響により経営の危機に直面。先が見えない状況のなか、支援が始まりました。まずは現状把握と社長の想いを傾聴し、「旅行予約サイトで集客強化」「客単価向上」「直販サイトの強化」の3stepでの支援方針を提案しました。社長は手数料の高い予約サイトでの集客に消極的でしたが、対話を重ねるなかで、実行を決断されました。具体的には、強みである手作料理を活かしたビュッフェスタイルへの変更、「映える」写真と魅力的なプランで選ばれる工夫、変動価格の導入、IT活用(サイトコントローラー)による業務改善などを実施しました。また、既存設備での客単価向上に限界が見え始めると、全客室に高品質マットレスの導入や特別感のある客室を導入するなど、思い切った設備投資に踏み切り、ワンランク上の滞在を実現し、旅行者や女性客など顧客獲得につなげました。

支援の成果

定量成果として、2022年10月コロナ禍の全国旅行支援に合わせプランを販売し、前年同月比2倍の売上を達成。その後も売上を伸ばし、客単価は5,500円から8,000円超に増加。口コミ総合評価も2点台から4点台に大きく飛躍する結果となりました。定性成果として、社長の経験と勤が頼りだった経営に、IT化によるデータ分析が加わり月一回の経営状況振り返りが習慣化し、待ちから攻めの姿勢への変革が実現しました。



(有)サンシャインとうはく 足立利香氏



中部センター 木下課長補佐

今後の展開 現在はstep3直販サイトの強化に取り組み、さらなる業績向上を目指しています。具体的には新プラン販売開始による閑散期対策、チェックイン時刻のコントロールなどです。今後も傾聴と対話を通じ、事業者と正面から向き合い、収益向上と事業の発展を全力でサポートしていきます。ぜひ一度泊まりにお越しください。

おもてなしスキルアップセミナー &ファームツアー

一流シェフが活かす鳥取県食材

令和7年1月13日(月)・14日(火)に日本政策金融公庫鳥取県食バラダイス推進課・本会の共催で「おもてなしスキルアップセミナー&ファームツアー」が開催されました。

本事業は、「鳥取県の食の魅力発信し販路開拓につなげること」、「インバウンド等の観光需要への対応力を高め、消費拡大につなげること」を目的に、講師にグランドハイアット東京「けやき坂」本多料理長、ANAクラウンホテルプラザ「花梨」田中料理長を講師に迎えました。

1月13日の「ファームツアー」では2名の講師が県内東部地区の農林水産物の生産者、加工事業者を視察され、その魅力や品質についての理解を深めていただきました。



調理の実演中の講師



地元食材を使ってセミナーで実演された料理

翌日、1月14日に開催された「おもてなしスキルアップセミナー」では、生産者と加工事業者に加え飲食・宿泊事業者等、40名が参加、ファームツアーで調達した食材を活用した調理の実演・試食を行いました。

また、セミナー内では具体的な調理方法や価格設定等について、講師からアドバイスをいただきました。セミナーに参加された事業者は「訪日向けのメニューの検討に向け多くのヒントを得た」等の声もあり、商工会では管内事業者の皆様の継続的な支援を行うことで、鳥取県を来訪される観光客等の対応力の強化や誘客等につなげてまいります。

域外販路開拓に向けた バイヤー商談会

域外販路開拓へ熱意！

バイヤー商談会で販路拡大の足がかり



鳥取県商工会連合会は令和6年度需要創出支援事業「域外販路開拓に向けたバイヤー商談会」を、2月5日(水)に中部商工会産業支援センターで開催しました。

本商談会は初の試みで、関東・関西・山陽等の県外、さらには香港・台湾といった海外に販路を持つ3社をバイヤーに迎え、商談を行いました。

商談会では、加工食品・飲料・洋菓子等の自社商品の販路拡大を目的に県内7事業所が参加され、各バイヤーと熱心な商談が行われました。

自社の加工食品・飲料・洋菓子等の商品を、FCP展示会・商談会シート等の資料や試食を通じてバイヤーにPR。商品の特徴や魅力を存分にアピールしました。

バイヤーからは「非常に美味しい」との評価が多数あり、見積書を依頼される等、参加事業者は自社の商品の品質に自信を深めることに、今後の新たな販路開拓に大いに期待できる商談会となりました。

また、バイヤーより「消費者の訴求力を高めるパッケージ改良」、「ターゲットのニーズに合った商品づくり」、「県外・海外に販売する際の価格設定」等の各商品の抱える課題についてもアドバイスがあり、客観的な視点から自社商品を見直す、貴

重な機会となりました。

商工会は県内事業者の皆様の、域外への新たな販路開拓、売上・利益の向上につなげていくために、今後も様々な支援策を通じて、皆様のビジネスをサポートしていきます。



商談の様子

鳥取県持続的な賃上げ・生産性向上支援補助金募集のご案内

物価高騰による厳しい経営環境が続く中であっても、一定水準以上の賃金上げを行う県内中小企業者の生産性向上や人材育成等を図る取組を支援します。このたび制度を拡充し、以下の通り活用企業を募集します。

※本補助金は『鳥取県持続的な経営力向上・賃上げ事業者支援補助金』を拡充した制度です。

制度拡充ポイント

(1) 賃上げ対象企業の拡充

- 全従業員の1時間当たりの平均賃金要件(最低賃金+51円以上)を撤廃
- 賃上げを比較できる起点を令和5年10月に据え置き

(2) 生産性向上など賃上げ環境を進める取り組みに係る経費負担軽減

- 小規模企業者の補助率の引き上げ：**1/2 → 2/3** (賃上げ率**5%**以上は、**2/3 → 3/4**)
- 上限額の引き上げ：**2,000千円 → 5,000千円**
(人数による段階的な上限額設定を一部緩和し、従業員数20人未満であっても上限**2,000千円**に引き上げ)

(3) 大規模成長投資による賃上げ

- 賃上げとより高い生産性向上を目指す大規模成長投資を行う企業向けの事業区分を創設
- 補助率：**1/2** 上限額：**15,000千円**(小規模企業者：**5,000千円**)



事業期間 事業認定日～令和7年12月31日(水) 実績報告め切：令和8年1月10日(土)

申請受付期限 **令和7年3月31日(金)**



詳細は鳥取県ホームページに掲載されている募集要領で必ずご確認ください。

お問い合わせ先

鳥取県商工労働部企業支援課(鳥取県持続的な賃上げ・生産性向上支援補助金事務局)

電話 **0857-26-7988** (平日9時から17時)

ファクソミリ **0857-26-8078**

電子メール **kigyuu-shien@pref.tottori.lg.jp**

ホームページ **https://www.pref.tottori.lg.jp/318240.htm**

賃上げ
補助金
H P



電子
申請



(申請先) 電子申請：https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14849

(郵送・持参先) 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220

鳥取県商工労働部企業支援課(鳥取県持続的な賃上げ・生産性向上支援補助金事務局)

協会けんぽ鳥取支部加入者の皆さまへ

令和7年3月分(4月納付分)からの協会けんぽの保険料率についてお知らせします。

健康保険料率



介護保険料率



鳥取支部の健康保険料率は変更となります。(全国平均保険料率は10.0%です)

介護保険料率(全国一律)も変更となります。

皆さまのご理解をお願い申し上げます。

※40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)は、健康保険料率に介護保険料率が加わります。※賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。

お問い合わせ先 協会けんぽ鳥取支部 企画総務グループ TEL.0857-25-0050(音声案内④)

地域密着の姿勢を変えず 人とのつながりをこれからも大切に



ランドマークを目指すクマダ石油



いつでもお客さんとの話に花が咲く

専用端末を操作する美秋さん

クマダ石油／鳥取市南商工会
住所：鳥取市河原町河原85-4
電話：0858-85-0755

鳥取市河原町の町中を通る県道沿いに、昔から地域の人が日常的に使っているガソリンスタンドがある。大型のセルフスタンドが増える時代に、昔ながらのスタイルで地域に根付いているクマダ石油。店を営む熊田美秋さんは、義父である先代の熊田恭仁さんから一昨年に事業を承継した。

「旧河原町をはじめ鳥取市内でもここに近い地域の人が昔から来てくださいます。顔馴染みの人も多いので心安いですし、これからもお店を守っていきたくですね」先代からの経営理念である「地域密着、地道な経営」を引き継ぎ、今日も笑顔で店に立つ。

地域住民や商工会に寄り添ってもらい

3年前から高齢の義父が体調を崩すようになり、後継者も決まっておらず、一時は廃業も考えていた。だが、慣れ親しんだ店を継続してほしいという地域住民からの声が多く、熊田さんが承継を決めた。

「それまで経営していた飲食店をちやうど辞めたところで、お義父さんの店を守りたいという思いがありました。全然違う仕事でしたが、接客業は慣れていたので、承継のために危険物取扱者の資格を取る勉強をしてみたら、それが面白くてのめり込みました」

事業承継の際、商工会にたくさん助けてもらったのも大きかったという。専門家の派遣制度を活用し、義父から引き継ぐ際の相続権や事業継続のアドバイスを受けた。昨年には鳥取県の産業未来共創補助金を活用し、老朽化していた外観や内観の改修工事を行った。

「店を閉めると思われていたので、常連さんにも『やる気が出てきたな』と励まされ、お客さんも少しずつ戻ってきてくれます」

地域にとって必要とされる場所に

今、仕事が楽しいという。飲食店時代から

接客には慣れているが、ガソリンスタンドにもさまざまな人のふれあいがある。

「7割以上は60歳以上のドライバーで、80代も少なくない。やっぱりセルフでタッチパネル式が何回やっても苦手っていうお客さんも多いんです。来られたらいつも何気ない世間話をするんですね。畑で野菜が出来たとか、病院に行くとか、買い物相談とか。毎日が面白いですよ」

次のお客さんが来るまでずっと話している人もいるし、作った野菜をいただきたいりする。そんな「人に触れ合う仕事」がやっぱり好きだなと実感する。

昔は旧河原町に5軒あったスタンドも、後継者不足などで今や2軒に減少。地域のお客さんも高齢化が進むなど時代の変化は著しいが、これまでと変わらず大切にしたいことがある。

「やっぱり人とのつながりは大事にしたいです。このお店を継ぐときもたくさんの人に助けってもらったし、一人じゃできなかった。この地域にあつてよかったと思ってもらえる店にしていきたいと思います」

経営支援専門員の声



東部商工会産業支援センター
藤井 陽介

今回の事業承継は、「商工会と専門家との連携による経営支援」だけでなく、「地域からの事業継続の要望」や「熊田さん自身の高い志」があつてこそ達成できたと感じており、事業を次世代に繋ぐ事の重要性を改めて実感しました。お客様の高齢化や設備更新など、今後解決すべき課題をしっかりと共有し、熊田さんに負けない高い志をもって経営のサポートが出来ればと考えています。

ワクワクする「大山時間」展開を！

「大山時間」令和6年度事業報告会開催

西部地域7商工会と西部商工会産業支援センターでは、令和6年度の「大山時間」事業を振り返り、これからの取り組みを事業者関係団体と共有する場として、「大山時間事業報告会&講演会」を開催。

「大山時間事業」の推進により鳥取県西部7商工会地域事業者の売上・利益の向上を目指す」という当初からの目的を振り返り、そのために今後、何をすべきかを共有しました。



現地で30人、ウェブで40人の参加をいただきました

コト事業では、今後増加が見込まれるインバウンドを含めた、域外から来られるお客に対しての商品・サービスの磨き上げを図った、モニターツアーやおもてなしセミナーの取り組み、三カ国語によるPR動画作成などを紹介。また、「国土交通省」自転車活用推進功績者「受賞を次のステップに繋げていく事を報告。

また、モノ事業では、商品開発セミナーや事業所マッチング・イオンモール日吉津でのフェア開催などを通じて、商品開発プラットフォームの必要性を説明。販路開拓マッチング交流会を通じて西部地区内で事業所同志の「コラボ商品や企画が誕生している事」こと報告しました。

「モノ×コト」視点で

第2部では、モノ視点でスノーアイティエヌ㈱代表取締役の中川勇志氏コト視点で㈱アーチ



大山時間
DAISEN JIKAN

ヒーロー北海道代表取締役の高橋幸博氏から演をいただきました。

商品サービスの開発や、サイクルツーリズムの取り組みなどを含め、「モノ」「コト」の取組みは、歩みを止めることなく、まずは行動していく事で、次への課題が見えてくると指摘。講演後に、講師と事務局で行ったクロストークでは、「モノ×コト」の展開から見える今後可能性のある取り組みなど、熱のこもった意見交換ができました。

いま有るモノを活かす大山時間

講演・クロストークを通じて、今後「大山時間」が目指すものは何か、また、それを達成するため何をすべきかを参加者で共有しました。

大山時間とは、地域に有るモノを活用して、「地域を良くしたい繋げたい！」を実現するための取組みである。

「地域に有るモノ」とは、まさしく「会員事業所」であり、大山時間というツールを事業にとんどん活用してほしい。

「大山時間」というツールを活用し「会員事業所の輪を広げていこう。これがワクワクする大山時間である。

今回の報告会で得た情報と、今後の事業展開を、みなさまと共有していきたいと思えます。



クロストークでは、「有るモノ」＝「会員事業所」の活用と、事業作りについて提案がありました。



大山時間事業報告会&講演会のYouTube視聴はコチラ

事業承継支援推進会議で事例発表

鳥取の優良事例を全国に発信

去る令和6年12月2日・3日に行われた事業承継支援推進会議(全国連主催)に、西部センターの濱本係長・篠田主任が参加しました。

本会議は、全国の事例等を学ぶことで職員の支援スキル向上を目的として開催されています。そういったなか、特徴ある優良な事業承継支援事例として、Sプランニングと佐伯造園の第三者承継支援が選ばれ、全国の商工会職員に向けて発表しました。発表では、支援者としての意識なども盛り込まれ、視聴した全国の職員から「イメージしやすく参考になった」「中山間地域でも可能性があると感じた」など、前向きなご意見を多くいただくことができました。

事業承継にはタイミングがあります。発表事例のように、途中から急にとんどん拍子に進む案件もあれば、5年以上かかる場合もあります。早く取り掛かれれば、余裕を持った取り組みが可能となります。是非最寄りの商工会へお声がけください。



事業承継支援推進会議(オンライン)

旭日双光章受章 記念祝賀会開催



旭日双光章 長尾裕昭氏

令和6年秋の叙勲受章記念祝賀会を12月13日に米子ワシントンホテルプラザで開催しました。受章者の本会副会長長尾裕昭氏他、連合会役員らが出席し長尾裕昭氏の功績をたたえました。石破茂内閣総理大臣、平井伸治鳥取県知事他からも長尾副会長の受章をたたえるお祝いのメッセージをいただきました。

祝賀会の発起人代表、馬野慎一郎県連会長から長尾氏の地域振興及び県内の中小企業事業者の育成等に尽力された功績に感謝を述べられ、引き続き県内小規模事業者の持続的発展への取り組みを進めていくと挨拶を述べられました。



馬野会長挨拶



ジブラルタ生命保険株式会社 鳥取支社
〒680-0846 鳥取市扇町9-2 とりぎんプラザビル 5F TEL:0857-36-7020

【コールセンター】 **0120-37-2269**
受付時間 平日9:00～18:00 土曜9:00～17:00
(日曜・祝日・年末年始を除く)

ジブラルタ生命ホームページ <https://www.gib-life.co.jp/>

地元で事業を営む「あなた」に寄り添う 鳥取銀行のコンサルティング

経営に関する
お悩み
解決します!

戦略策定
補助金申請

販路支援

事業承継
M&A

えっ! 銀行に
そんなお願い
できるんだ

ぜひ、鳥取銀行にご相談ください
ご相談はお近くの鳥取銀行 窓口まで

TOTTORI BANK 鳥取銀行

地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク

残高照会や入出金明細照会が無料でご利用いただけます!

ごうぎん Biz ポータル

法人・個人事業主さま向けのビジネスポータルサイト

- 残高照会 ● 入出金明細照会・振込入金明細照会
- 当行の便利なサービスやキャンペーン情報配信
- 電子振票交付サービス ● e-Taxデータ受付サービス

※ご利用にはサービス内容により手数料が必要です。

銀行窓口よりお得な振込手数料 & 安心のセキュリティ

ビジネスインターネットバンキング

振込など決済業務のスピードアップを実現するサービス

- オンラインサービス
- 一括データ伝送サービス

振込入金明細照会 / 総合振込 / 給与・貸与振込 / 振込入金明細照会 / 資金移動(振替/振込) / 口座振替 / 地方税一括納付 税金・各種料金の払込み

※ご利用にはサービス内容により手数料が必要です。

ごうぎんBizポータルとビジネスインターネットバンキングは連携してご利用可能です。お申込方法はごうぎんホームページにてご確認ください。

毎日の社長さんをお支えます。

日本フルハップ

イヨ フルハップ 会費のお取扱いは
0120-14-2682 **信用金庫**
[土、日、祝日は除く9:00～17:30]

経営者年金
拠出型企業年金保険

中国地区しんきん経営者協議会
TEL 082-240-1165

中国しんきん **VISA**

ビジネスカード

中国しんきんカード
TEL 082-243-1181

みんなのために、ひとりのために

しんきん
バンク
信用金庫

ふれあい大好き

鳥取信用金庫
鳥取市米町645

人に街に、心地よい風を...

倉吉信用金庫
KURAYOSHI SHINKIN BANK
倉吉市昭和町1丁目60

幸せはここマイバンク

よなごしんきん
地域のオンラインワンバンクへ!!
米子市東福原2丁目5-1

新入会員紹介

東部センター管内

- 鳥取市西商工会
 - ・mizuiroso建築デザイン事務所（建築設計業）
 - 長見 友子
 - ・スパイス食堂杜家（その他の専門料理店）
 - 齋藤 智範

中部センター管内

- 湯梨浜町商工会
 - ・森商店（鮮魚小売業）
 - 森 正樹
 - ・ペレの宿（宿泊業（簡易宿所））
 - 河本 和志
 - ・Janet's Mono Japan（小売業）
 - Shimasaki Janet Leal

- ・mm.（美容業（まつげパーマ））
- 福井 美香
- 三朝町商工会
 - ・Winning Load（車両整備販売業）
 - 本田 清吾
- 北栄町商工会
 - ・喫茶No.8（飲食業）
 - 酒匂 夏那子
 - ・三栄設備（設備工事業）
 - 仲井 佑太
 - ・Saika（美容業）
 - 奥田 香澄
 - ・縁～YuKaRi～（貸衣装業）
 - 長濱 秀美
- 琴浦町商工会
 - ・アイスクライム（株）（サービス業）
 - 大河内 真生
 - ・樹下商店（サービス業）
 - 樹下 恵利

西部センター管内

- 大山町商工会
 - ・（有）山陰建装工業（建築塗装）
 - 香川 修三郎
 - ・（株）カラス天狗サービス（サービス業）
 - 矢田 考志
 - ・（株）花万（園芸サービス業）
 - 三澤 剣士郎
 - ・電匠（電気工事業）
 - 三上 功雄
- 南部町商工会
 - ・かめ整体院（整体業）
 - 亀尾 英俊

（敬称略）

商工会員募集!

わたしには夢がある。
動き出そう! 商工会と。

ぜひ商工会を
使ってください!



商工会は経営に関する支援を行っています。

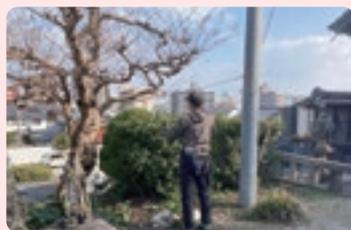
- ★起業したい! ★「働き方改革」を進めたい!
- ★事業承継の準備を進めたい!
- ★販路を広げたい!
- ★とにかくこの状況を改善したい!
- ★経営を向上させたい! などお考えの方…

そのほか

- 法律相談
- 経営上必要な資金調達
- 経営診断なども受けします。
- 施策の普及
- 労働保険事務代行
- 経理の効率化
- 貯蓄共済
- 福祉共済
- 自動車共済など各種共済も取り扱っています。

になります。

入会企業の声



事業所データ

Sプランニング

住 所：西伯郡南部町宮前299
電話番号：090-6909-5431
営業時間：8:00～17:00

当社は土木工事から外構・造園工事と幅広く対応させていただいております。また、お客様の「ご希望に沿えるよう心掛けておりますので、ぜひご相談ください。」

創業時に土木工事業だけでなく、「造園事業にも取り組み受注の幅を広げたい」という想いで商工会へ相談。そこで、事業承継を希望されていた会員企業と引き合わせていただき、長期間に渡る様々な支援を経て造園事業の引継ぎをさせて頂きました。事業計画策定・補助事業活用・融資と多岐に渡り支援をいただいた事として今後も引き続き経営支援を受けたいという想いから商工会へ加入しました。

令和5年6月に創業。鳥取県西部を中心に土木工事・造園工事・外構工事を請負っています。



Sプランニング
代表 瀬戸 太一氏
(南部町商工会)

想いを引継ぎ創業へ